

令和4年度地域生涯学習活動実践交流セミナー

全町教育を通した大人の自分育ての促進

「しんとく全町教育」の紹介

新得町教育委員会

社会教育課社会教育係 高尾 圭斗

北海道の重心

新得町



人口：約 5,600 人

面積：約 1,063 km²



新得町の自慢

- ・そば
- ・フロアカーリング
- ・サホロスキー場
- ・トムラウシ温泉
- その他いろいろ…



本日の発表の流れ

1. 「全町教育」とは？
2. 「全町教育まつり」の紹介
3. 「全町教育」を通した大人の自分育ての促進
= 地域づくりの担い手育成

「全町教育」とは？

“町ぐるみで地域の子どもを育てよう”
と言った「運動」

【現状】

地域社会の繋がりが薄れつつある
→地域の子どもへの教育意識が失われる

【目指す姿】

- ・子どもと大人、お互いが学び合い育つ町
- ・地域コミュニティの活性化

全町教育の目的

- ・ 子どもの「真の学力」の向上
 - ↳ [①学び続ける意欲
②課題を解決するための力
③様々な人と関わる力]
- ・ **大人の自分育て**
 - ・ 地域住民による主体的な学習活動（生涯学習）の充実
 - ・ 学びを通じた住民相互のつながりにより、大人や地域の「教育力」向上を目指す。

全町教育まつりについて

【開催趣旨】

全町教育の運動に対する理解、イベントの取組みを通じた地域連帯意識の高揚、地域教育力の向上を目的に開催

第9回全町教育まつり

～子どもを育てる地域の和 地域を育てる子どもの笑顔

とき 11月20日(日) 9:00~11:45

ところ 新得町公民館

8時40分まで来て下さい。受付時に縁日券を渡します。



3年ぶりの全町教育まつりは、新型コロナ感染対策を取って行います。
ワークショップに参加することが原則で、園児(親)、小学生を対象としています。園、
学校を通して事前予約してください。

《今年度》

参加者（幼児・小学生）：150名
中学生ボランティア：8名
一般ボランティア：100名

《コロナ前》

参加者（限定なし）：278名
中学生ボランティア：6名
一般ボランティア：108名

全町教育まつりの内容

開会式、開会セレモニー

9:00~9:45

新得中学校吹奏楽部演奏と生歌と
新得音頭のコラボ、参加者で踊りまし
ょう。(学校関係者の観覧はOKです)



こども縁日・駄菓子コーナー

9:45~11:15

輪投げ・射的・フリースロー・スマーブ
トボール、型抜き・わたあめ・駄菓子コーナー
参加者には5枚の縁日券を渡します。
なくなったら1枚50円で買ってね。



閉会式 11:15~11:45

○×クイズ・じゃんけんゲーム、参加者
全員にお楽しみプレゼント！

行き 送迎バス

帰り

8:00	富村牛小中学校	12:40
8:30	屈足総合会館	12:10
8:35	旧半田商店前	12:05
8:40	町公民館	12:00



ワークショップ 9:45~11:15

ワークショップは、園、学校を通して事前予約し
てね。当日の申し込みは空きがあるワークショップ
に入れます。



◎リースづくり

自然の素材でリースを作ろう！



◎LeT's 花育

ナチュラルグリーンを飾ろう。多肉植物シリ
ーズ(アニマル、アマビエポット付き他)



◎ポート編みでマフラーづくり

ボードを使って自分だけのマフラーを作ろう！

◎リトミック(幼児・親)

音楽・リズムに合わせて楽しく動こう！



◎いも団子づくり

新得産ジャガイモで中身が色々な
いも団子を作ろう！



◎キラキラステンドグラスづくり

アルミホイルを使ってキラキラ輝くクリス
マス飾りを作ろう！



◎手作りゴムライフル作り

電動工具を使って本格木工体験！

【ワークショップ】

地域住民や企業、NPOなど多様な人材を
講師とした体験学習。

地域の大人達がメインとなり、学習内容
を工夫しながら活動を進める。

《コロナ前》

ワークショップ講師

- ・広報等で募集
- ・社会教育関係団体などに広く呼びかけ



《今年度》

ワークショップ講師

- ・全町教育関係者を中心に教育委員会で調整

ワークショップ



木育の様子、ボランティアに手伝ってもらいながら頑張っています。



花育の様子、中学生もボランティアとして参加者の手伝いをします。

縁日コーナー



縁日、ピンボールの様子



縁日で駄菓子屋さんも開きました。

反省会での意見

【ボランティアの声】

- ・コロナ禍で安全に実施できて良かった。
- ・**子ども達が楽しそうで、大人も元気をもらえた。**
- ・たくさんの参加者に体験活動を楽しんでもらえて良かった。来年もこの事業を繋げていきたい。
- ・保護者も楽しんでいる様子で良かった。

【中学生ボランティアの声】

- ・私が小学生の頃、楽しく参加することができました。今度は自分がボランティアとして楽しませたいと思ったので参加しました。

全町教育まつりの役割

【子どもにとって】

- ・たくさんの大人と交流することで、コミュニケーション能力の向上へ
- ・学校で体験できないことができる
- ・学習に対しての意欲向上
→勉強以外の知識を追求する、学び続ける意欲

【大人にとって】

- ・自分の知識・技術を活かすことができる場
- ・大人の自分育ての促進の場
→指導後の達成感、充実感を得られる
→教育に対する意欲向上

全町教育を通じた大人の自分育ての促進

地域住民が持つ多種多様な知識や技能を社会教育や学校教育の場（今回は全町教育まつり）で子どもたちに伝える、体験させる



子どもも大人も共に学びあい、育ち合う



地域の教育力の向上

社会教育主事（行政職員）の役割

○地域の人材の活躍の場の提供 新たな人材の発掘

・まちの先生登録制度

自分の特技や趣味を活かしたいという方を募集し、冊子としてまとめている。登録制度を整える事で、次の新しい人材発掘に繋がることも。

冊子を学校や公共施設に配布し、社会教育事業や学校教育の場などで活用している。

現在は個人18名、団体15が登録している。



社会教育主事（行政職員）の役割

○地域の人材の活躍の場の提供 新たな人材の発掘

夏休みなかよし学習塾

- ・夏休み期間に小学生が公民館に集まり、夏休みの宿題や体験活動を行う。
- ・町の社会教育関係団体、教育委員、社会教育委員、地域ボランティア、中学生、学校の教諭、行政職員がボランティアとして参加し、子ども達の活動を支援する。
- ・体験活動についても、地域で活躍している人を中心に依頼している
→「自身の知識を子ども達に伝える環境があるのはありがたい。」という意見も



体験活動の講師（地域住民）
に剣術を学んでいる様子

宿題に地域の方と一緒に取り組む様子

最後に

子どもを通して親が参加から、参画へ

全町教育まつりの参加対象：未就学児・小学生・**保護者**



保護者（大人）が子どもと一緒に参加



保護者（大人）を巻き込み、参画へ

ご清聴ありがとうございました

